

◆ 1月号の予定 ◆

特集 「日本のサービス貿易の実態と課題」

日本のサービス貿易は、旅行・運輸・知的財産使用料などが中心で、近年はIT・金融など無形サービスの輸出が拡大している。一方で、デジタル化対応の遅れや人材不足が課題となっている。このような中で日本のサービス貿易の現状と今後の課題について、データを使用した分析結果に基づき考察する。

論考・論文

- ・広域経済連携と日本のサービス貿易—二国間統計に基づくCPTPP・RCEP発効効果の検証
- ・国際収支統計におけるサービス貿易
- ・拡大するサービス貿易と日本のデジタル赤字
- ・旅行収支とインバウンド

特別寄稿

- ・2つのセンサス（仮題）

統計ウォッチング

- ・アベノミクス2.0実現を目指す高市政権

連載

- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線（24）
 - AI・DS探究コンペティションを通じた中高生の統計・データサイエンス能力の向上-
 - ・滋賀大学宇におけるデータサイエンスの産官学連携（10）
- ダイキン工業株式会社の取り組み－伴走支援におけるデータ活用事例紹介－
- ・労働力調査の80年（10）－労働力調査の始まり－

統計利活用コーナー

- ・統計データ分析コンペティション2025受賞論文 高校生の部 総務大臣賞

英国王立統計学会機関誌Significanceから

- ・Jordi Prats 著 “Fit for duty”抄訳と解説

書評

- ・中野 慎也 著 『データ同化』

◎「特集」のテーマ（2025年6月号～2026年5月号）

- 2025年6月号 — わが国のコーポレート・ガバナンス
7月号 — 令和7年国勢調査の意義と役割
8月号 — 行政情報のミクロデータ研究
9月号 — 税務情報のミクロデータ研究
10月号 — 公的統計のミクロデータ研究
11月号 — 加速する少子化
12月号 — 日本発の統計的方法
- 2026年1月号 — 日本のサービス貿易の実態と課題
2月号 — 医療、介護産業の生産性
3月号 — 高齢社会における金融資産－実態と課題
4月号 — 令和8年経済センサス－活動調査の意義と役割
5月号 — 統計調査のイノベーション

(注)「特集」のテーマは、社会経済の動向により見直す場合もあります。

◎連載

- ・国際統計制度とは何か
…2021年1月号から隔月
- 2025年3月号まで連載
- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線
…2021年7月号～毎月12月号まで
- …2023年1月号～毎月7月号まで
- …2024年3月号～
- 2025年2月号まで連載
- ・2025 SNAの最前線
…2023年4月号から隔月
- 2024年2月号まで連載
- ・データサイエンスの産官学連携
…2025年4月号から毎月
- ・労働力調査の80年
…2025年4月号から毎月